

あけまして
おめでと
うござい
ます



吉沢税務会計事務所だより

発行人

税理士 吉澤 暢章

事務所 〒399-8602

長野県北安曇郡池田町

大字会染6752-1

TEL 0261(62)2487

FAX 0261(62)7499

1月

(睦月) JANUARY

1日・元日 8日・成人の日

日	月	火	水	木	金	土
・	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	・	・	・

ワンポイント 森林環境税の導入

令和6年度から国内に住所のある個人に課税される国税で、個人住民税均等割と併せて1人年額で1,000円徴収されます。税収は国から「森林環境譲与税」として都道府県・市町村へ配分され、間伐等の森林整備や木材の利用促進、林業を支える人材育成などへの安定的な地方財源として活用されます。

1月の税務と労務

- 国 税 / 給与所得者の扶養控除等申告書の提出
本年最初の給与支払日の前日
- 国 税 / 報酬、料金、地代、家賃等の支払調書の提出
1月31日
- 国 税 / 源泉徴収票の交付、提出
1月31日
- 国 税 / 12月分源泉所得税の納付
1月10日
(納期の特例を受けている事業所の7~12月分は1月22日)
- 国 税 / 11月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等)
1月31日
- 国 税 / 5月決算法人の中間申告
1月31日
- 国 税 / 2月、5月、8月決算法人の消費税等の
中間申告(年3回の場合)
1月31日
- 地方税 / 固定資産税の償却資産に関する申告
1月31日
- 地方税 / 給与支払報告書の提出
1月31日
- 労 務 / 労働保険料の納付(第3期分)
1月31日
(労働保険事務組合委託の場合2月14日まで)



N分N乗方式

N分N乗方式とは

N分N乗方式とは、所得税の計算方法です。通常、所得税というのは個人の所得に対してかかってくる税金をいいますが、N分N乗方式では「世帯」単位で所得税の課税額を計算する方法になります。なお、所得税の課税対象「N」というのは世帯の人数を表す言葉で、「N分」とは世帯の人数で除すること、「N乗」とは世帯の人数で乗ずることを表します。

N分N乗方式の計算法

N分N乗方式の計算法としては、まずは夫婦や子どもなどで構成する1世帯全員の収入の総額を算出します。次に、この総額を世帯人数で割り、1人当たりの収入額を割り出します。この1人当たりの収入額に各種の控除額を適用させ、最終的な課税額を割り出す、という方法を取ります。

通常、日本で用いられている所得税の計算方法は、課税対象となる所得額が多くなるにつれ、税率が上がるという「累進課税」方式です。累進課税方式では、所得額や保持している資産額の多さに比例して税額が増えるので、所得の格差を埋めることができるという効果があります。その一方で、物価の高騰時も税率が変わらないことから納税額

に影響が出るなどの懸念点が存在します。

N分N乗方式は、累進課税方式とは異なり、世帯人数が多ければ多いほど所得税額が低くなる仕組みとなっています。その結果、家族の人数増加、つまり少子化対策として大きく期待されている制度になります。

N分N乗方式のあらまし

N分N乗方式は、もともと第二次世界大戦後のフランスで生まれました。世界大戦を経て多くの人が亡くなり、人口減少問題に直面したフランスで、再度人口を増やしていくための方策として導入されたという経緯があります。

フランスで実際に導入されたN分N乗方式では、世帯人数の数を工夫しました。両親などの大人は「1」、子供は「0.5」でカウントしますが、3人目以降の子供は上2人の子供とは異なり「1」でカウントされます。その結果、子供の人数が増えるにつれ、課税所得金額が減少するという仕組みが採られています。

フランスでは、N分N乗方式が導入されて以降は出生率が上昇し、2021年における出生率は「1.83」です。一方、日本の場合は1940年後半の第1次ベビーブームと呼ばれる時期には4.3という高い出生率を誇っていましたが、その後は減少

を続け、2021年現在は「1.3」という世界的にも低い数値が報告されています。

N分N乗方式の課題

N分N乗方式は、累進課税方式とは全く異なる制度で、少子化対策に効果が期待できるというメリットがありますが、それと同時に懸念点も浮き彫りになっています。

その懸念点の一つとしては、低所得者になるほど制度の恩恵を受けづらいという点が挙げられます。低所得者はそもそも税率が低いことから、減税の対策を取ったとしても影響が少ないためです。

また、ひとり親家庭の場合は世帯の人数が少ないことから、特に共働き世帯と比較するとメリットが感じられにくくなるケースがあり、不公平感が生じるといった問題点もあります。

さらに、N分N乗方式のメリットである少子化対策に対しても、単体でどこまで効果が表れるかは未知数です。そもそもフランスでは、第3子出産時に対象となる「増額育児分担当」など、N分N乗方式以外にも少子化に対応するためのさまざまな制度を打ち出しています。少子高齢化に対応していくためには、今後さまざまな観点から複数の対策を併用して実施することが求められます。

歩合給とは

歩合給とは、社員の営業成績や売上額などの内容に応じて給料額が決定される賃金システムのことです。歩合給の支払例としては、例えば売上高の2%が歩合給として社員に支払われる制度を採っている会社で、ある社員が1ヶ月で800万円を売り上げた場合、歩合給の金額は16万円になります。

歩合給には、固定給に上乘せする形で支払われる「固定給+歩合給」の制度、歩合給のみが支払われる「完全歩合制」の2種の支払方法があります。ただし、「完全歩合制」は会社で雇用契約を交わした社員に対しては利用することができません。

一方、「固定給+歩合給」は、社員個人の能力や働きぶりが会社の売上に關わる可能性が高い職場で積極的に導入されています。例えば、保険の営業担当、車の販売、美容師、ネイル・エステサロン、タクシー運転手などが活躍する職場では、成果に応じたボーナスポイントとして、歩合給が設定される場合が多くみられます。

インセンティブとの違い

歩合給と似たものとして「インセンティブ」が挙げられますが、これは歩合給とは内容が異なります。

歩合給が実績や成果を基準に支払われるものであるのに対して、インセンティブは会社で定められた営業



ノルマや売上数などの「目標」を上回る成果を出した社員に対して、固定給にプラスして支払われるものをいいます。例えば、「契約目標□□件を達成した場合は〇〇円を支払う」などのシステムが挙げられます。

なお、インセンティブの場合は、金銭による支払だけでなく、社内の評価制度に反映させる場合もあります。

違法となる「完全歩合制」のケース

前述の通り、完全歩合制は雇用契約を交わした社員に対しては利用できず、業務委託契約でのみ認められています。実際に社員に対して完全歩合制を適用した場合は、労働基準法違反とされます。会社は、社員が安定した生活を送ることができるような賃金を保証しなければならないと、売上などの成果を思うようにあげられなかった社員に給料を支

払わなかったり、少額の支払をしたりする行為は、違法扱いとなります。なお、対象となる社員は正社員のみならず契約社員やアルバイト・パート社員にも適用されるため注意が必要です。

歩合給の割り振り方式

歩合給には、「割り振り方式」という制度があります。これは、歩合給制度を導入している会社があらかじめ給料の総額を計算し、その総額を基本給、各手当、残業代などに割り振る方法のことです。トラックやタクシー運転手など、動く距離や売上の額がさまざまな状況で左右される職場で多く導入されています。

しかし、この割り振り方式には、注意しなければならない点があります。そのうちの一つは「最低賃金」です。割り振られた基本給が、毎年秋に公表される最低賃金を満たしているか、定期的に確認をしなければなりません。次に、「保障給」の設定です。売上高が減ることで社員が受け取る給料が大幅に減ってしまうと、社員が生活に困窮してしまいます。このような事がないよう、法律により社員の平均賃金額の6割以上となる保障給を場合にに応じて支払う必要があります。

最後に、歩合給制度の導入時にも法定の割増賃金を支払う必要があることを念頭に置かなければなりません。歩合給を導入する場合も、的確な勤怠管理や給与計算の実施を心がけるようにしましょう。

合成燃料

合成燃料とは、水素（H₂）と二酸化炭素（CO₂）を材料にして作られる燃料のことで、e-fuel（イーヒューエル）とも呼ばれます。現在、環境問題に対応できる重要な存在として注目されている燃料になります。石油やガスなど、人間が生活する際に活用する化石燃料は自然から作られた天然の燃料であるのに対し、合成燃料は人間の手で作られた人工的な燃料です。

合成燃料の基になる「二酸化炭素」は、稼働する工場などから実際に排出されたものを使っていますが、いずれは大気中に漂う二酸化炭素を回収し、合成燃料として活用することを目指しています。合成燃料のために排出された二酸化炭素を利用することは、国が目標として掲げている、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量をゼロにするための試み「カーボンニュートラル」にも非常に良い影響が期待できます。

一方、合成燃料のもとになるもう一つの物質「水素」は、二酸化炭素の排出のない再生可能エネルギーで作られた電力をもとにして、水から作り出された「グリーン水素」を活用します。こちら、自然界に存在する再生可能エネルギーを利用することで、環境に配慮した原料を活用しています。

合成燃料のメリットは、すでに存在するエンジンに活用できることです。世界では電気自動車の活用が推奨されていますが、日本では依然として多くのガソリン車が走っています。このガソリン車に合成燃料を使うことで、カーボンニュートラルの取り組みが実現するのです。

また、エネルギー密度が高いことも知られており、多くの燃料を必要とする大型車やジェット機への活用が見込まれています。さらに、合成燃料は液体燃料であるため、持ち運びがしやすいこともメリットの一つです。今後は、いかに製造コストを抑えて合成燃料を生み出すかが製造元の課題とされています。

年始の挨拶マナー

年始の挨拶回りは、もはやビジネスにおいて欠かせない行事の一つといえますが、コロナ禍を経て挨拶回りのスタイルは様変わりしました。かつて年末年始の風物詩となっていた、アポなしで大人数が連れ立って年始の挨拶を行う企業は減り、事前にメールや電話で相手先の都合を確認してから伺うのが主流となっています。

挨拶回りの日付は、多くの会社の仕事始めとなる1月4日から、門松が飾られる期間となる「松の内」の期間までといわれています。

松の内の期間は、一般的に関東地方の場合は1月7日まで、関西地方の場合は1月15日までといわれており、関東と関西で期間が異なる点に注意しましょう。

なお、挨拶回りの手土産については日持ちのする食べ物が多く選ばれていますが、昨今では手土産を遠慮する企業が少なくないため、日付とあわせて事前に確認しておくとうまいでしょう。

世相を反映

「ファスト映画」

近年、映画業界で「ファスト映画」が問題となっています。ファスト映画とは、映画のあらすじを10分前後にまとめた動画のことです。動画制作者によりナレーションや字幕がつけられていることから、実際の映画を観ることなく短い時間で映画の概要を知ることができると話題になりました。

しかし、ファスト映画は著作権法に抵触するため違法動画として扱われています。2023年8月末、裁判でファスト映画を無断投稿した者に対して5億円の損害賠償金の支払いが求められる判決が下されました。ファスト映画は、誰でも気軽にネット投稿が可能となった現代において、映画や音楽の早送り、早回りが浸透している若者世代の象徴となる存在であるといえるでしょう。